

平成22年度 第2回健康づくり審議会議事録

1 開催日時

平成23年2月21日（月） 午後2時～2時40分

2 開催場所

保健センター 2階研修室

3 出席者

(1) 委員

岡本和士委員（会長）、中島貞利委員、森清人委員、
山本美和委員 栗山久子委員 鈴木まき委員、谷川隆子委員
（欠席者 大島明子委員）

(2) 事務局

保健センター所長 田中陽子、保健師 権田香、長友妙子

4 議題

(1) あいさつ

(2) 議題

- 1) 平成21年度保健事業状況について
- 2) 平成22年度保健事業について

(3) その他

5 会議資料

- ・ 「平成22年度保健事業状況」
- ・ 「平成23年度保健事業」
- ・ （厚生労働省 配布資料）妊婦健康診査の実施について、働く世代への大腸がん検診推進事業について

6 議事内容（要点筆記）

司会（権田）

それでは、ただ今から第2回健康づくり審議会を開会いたします。私は、本日の審議会の司会進行を務めさせていただきます保健センター保健師の権田と申します。宜しく願いいたします。開会にあたりまして、岡本会長様から一言ご挨拶をいただきます。

会長

年度末ですが皆様ご苦勞様です。今日はよろしく願いします。

司会（権田）

ありがとうございました。これより議題の審議に入ります。会議の進行につきましても、会長の取り回しでお願いいたします。

会長

それではただ今から、議事の進行をさせていただきます。まず議題（1）の平成22年度保健事業実施状況についての説明を事務局より説明をお願いします。

事務局

（1）平成22年度保健事業実施状況について

会長

事務局の方から、今年度の保健事業の実施状況の報告がありましたけれども、これにつきまして皆様の方から質問や意見などありますでしょうか。

委員

健康づくり推進事業における健康・福祉フェスティバルの歯科のフッ素塗布についてですが、フッ素塗布という言葉はずっと慣れ親しんだ言葉で歯科関係だけではなく町民の皆さんにも馴染みが深いと思いますが、私たちの歯科の間では今はフッ化物塗布という言葉を用いています。長年の経緯もあるためフッ素塗布の言葉がよければこのままでよいと思いますが、言葉の使い方はいかがでしょうか。

事務局

資料ではフッ素塗布と書かせていただいたが、住民の皆様さんへの広報ではフッ化物塗布と表記させていただいておりますので、資料の方を訂正させていただきます。よろしくをお願いします。

会長

他はいかがでしょうか。

委員

新規事業の心の健康相談では、健康教育でスクリーニングして支援につなげていると伺ったのですが、まだ1年過ぎていないが事業を行ってみて、従来やっていた時と比べて感じられることがあれば教えて下さい。

事務局

今回は健康教育において心の健康チェックを行う際に集団ではなく個別の形をとりました。住民さんになるべく自分から話をしてもらえるようにしたため、心の健康チェックを行って悩んでいること等をお話していただきスムーズに個別相談に移ることができました。専門家である医師と臨床心理士が話を伺い、秘密を守る個別の相談であることをご案内しスムーズに相談に移っていただいたことで、うつの疑いがある方など医療機関につながった人もいます。また、ここで自分なりに解決方法を見つけた方もいらしたため、事業をやってよかったと思いました。

会長

よろしいでしょうか。また何かありましたら事務局のほうにお尋ね下さい。では議題（１）を締めまして、次の議題（２）平成２３年度保健事業について事務局よりお願いします。

事務局

（２）平成２３年度保健事業について

会長

来年度の保健事業、特に新規事業を中心にご説明をいただいた訳ですが、特に母子保健の分野、またそれに関連したワクチンについて来年度から新規事業として投入される予定ですが、これにつきましていかがでしょうか。

委員

HTLVの検査について３０週までに行うこととなっているが、HTLVの感染経路からして妊娠中に感染することはまずありえないので、初期の採血のときに一緒にさせていただくとありがたいと思います。また、１回の採血が省略できる訳ですから、患者さんにとってもいいのではないかと思います。それから経産婦の方によく言われることですが血液型は調べなければいけないものかと言われます。初回の妊娠の時に調べて証明書を渡しているため経産婦の方には無駄のような気がしています。この２点に工夫をいただけるとありがたいと思います。

事務局

これにつきましては医師会との交渉もありますので参考にさせていただきます。よろしくお願いします。

委員

私の方では３０何年前からHTLVウイルスの検査をしていたが、どうしてもいやだと言われる方に対しては説明させてもらっていたが、だいたい１％位の患者さんにあることがあった。やっと社会が行き着いてきたなと感じ、とても結構なことだと思っています。

会長

ありがとうございました。HTLVの検査を妊娠初期にしてもらったほうが、効果があるのではないかと思うため、また検討いただければと思います。他はよろしいでしょうか。後ほどご質問やご不明な点がございましたら、事務局の方にお尋ねください。それでは議題（３）その他に移ります。事務局のほうで何かありますでしょうか。

事務局（所長）

どうもありがとうございました。次回の健康づくり審議会につきまして

は先ほど説明させていただいた資料1の平成22年度の事業のまとめについて5月下旬～6月の初めにかけて健康づくり審議会を開催させていただきますのでよろしくお願いします。

また、先ほど報告させていただいた子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンにつきましては予算が通りましたら早いうちに対象者の方にお知らせいたします。特に子宮頸がん予防ワクチンにつきましてはお母さんが理解して、そして子どもさんも理解していただかないと接種が不可能ですので、啓発用のパンフレットを入れてお送りさせていただきたいと思っています。また中学校にも保健体育などを使って子ども達に防げるがんということを教育していただきたいとお願いをしましたので、そのような形で連携を持ち、子どもさんにも理解をしていただきたいと思っております。ヒブ、小児肺炎球菌ワクチンに対しては既に受けてらっしゃる方もあり、お母さん方にも認識度が高いものですから、ご案内のみという形でパンフレットの方は送付させていただきますので、よろしくお願いします。以上でございます。

会長

本日本予定をしておりました審議会の議題につきましては、全て終了しました。これをもちまして、第2回健康づくり審議会を閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。

議事録の署名

平成23年3月14日

岡 本 和 士

森 清 人

鈴 木 ま き